

平成22年度 第9回安曇野市文化振興計画策定市民委員会 会議概要

1	協議会名	平成22年度第9回安曇野市文化振興計画策定市民委員会
2	日 時	平成23年3月11日 午後1時30分から午後3時まで
3	会 場	安曇野市豊科交流学習センター“きぼう”学習室1
4	出席者	笹本委員長、百瀬副委員長、三原(好)委員、岡本委員、濱委員、矢ノ口委員、細川委員、石田委員、降旗委員、鈴木委員
5	市側出席者	竹内文化課長、山田文化振興係長、三澤文化振興係主査、土屋文化財保護係主任
6	公開・非公開の別	非公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年3月12日

協 議 事 項 等

1	会議の概要	<p>1 開 会 (竹内課長)</p> <p>2 挨拶 (笹本委員長)</p> <p>3 協 議</p> <p>(1) 文化振興計画素案について</p> <p>(2) その他</p> <p>4 閉 会 (竹内課長)</p>
2	協議概要	<p>(1) 文化振興計画素案について</p> <p>資料説明 (事務局)</p> <p>委員長・パブリックコメントを反映し、専門委員会にかけたものが今回の資料である。専門委員会では推進体制の部分に大幅に手を入れ役割を明確にした。</p> <p>第1章について</p> <p>委員・・語句、文章の修正を。</p> <p>委員長・言葉については、事務局でもう一度、推敲することとする。</p> <p>第2章について</p> <p>委員・・具体的な文化の例示がなくなったが、どうしてか。</p> <p>事務局・専門委員会において指摘があり、精査した。</p> <p>委員長・市民の愛した日本文化というものが、安曇野の文化といえないものも含んでいた。文化を例示することにより、範囲を狭めてしまうこともありうる。</p> <p>委員・・計画の位置付けの変更箇所についてはどうか。</p> <p>事務局・行政からの意見を反映させてある。指針や計画が混在しているため精査した。</p> <p>第3章について</p> <p>委員長・ここでは写真をたくさん載せて例示としたい。ここにあげられているものはあくまでも例である。良い写真があれば載せたい。また、写真が無ければ例に挙げていても載せない。基本的には過不足無く載せたい。</p> <p>委員・・御船祭りだけでなく、その他の祭りもすべて入れてよいと思う。</p> <p>委員長・安曇族だから船という指摘がよくあるが、そうでないものもある。船にこだわっているのではなく、ここではそのようなお祭りを掲載したい。</p> <p>第4章について</p> <p>委員長・専門委員会の中で修正した点もある。ご意見をいただきたい。</p> <p>委員・・田淵行男賞写真作品公募の予算はどうなっているのか、今後も継続できるのか。</p> <p>事務局・田淵行男顕彰基金の取り崩しにより、第3回田淵行男賞は100万円補助をしている。5年に一度行ってきており、3年に一度に変更して実施したいという意見が出ている</p> <p>委員長・豊科図書館に田淵行男コーナーがある。そこにも田淵賞関連の写真集がある。このような積み重ねは財産である。</p> <p>委員・・人材の確保の明文化は良かった。</p>

第5章について

- 委員長・「主役は市民一人一人です」と変えた。「主役は市民」という以前の文章より一歩踏み込んでいる。さらに、「市民自ら研鑽し」とした。また、学校、団体の役割を明確に書いた。その上で行政の役割を書いている。何かご意見を。
- 委員・市の責任を明確にしているが良いが、青少年活動についても入れたい。文化芸術団体でひとくくりにするだけでなく、三郷に多くある青少年活動の団体も書いて欲しい。
- 委員長・子どもたちを支える団体の育成を行政の責務として載せているが。
- 事務局・青少年活動は行政上の区分けとして、「文化」ではなく、「社会教育」の分野となる。学校以外の社会で育てる意味合いはここに含まれないと思う。
- 委員・学校以外の場所でやらねばならない取り組みで、これは文化活動に入れて欲しい。
- 委員長・具体的にどのような文章にするのか言ってほしい。危惧する部分として、他の活動も入れねばならなくなると文面に困る。どうすればよいか案を。
- 事務局・子どもから高齢者のふれあいの中で、世代間交流をし、その中で文化の継承を進めていくよう施策を掲げている。青少年団体もNPO団体等の中に含んで考えたい。
- 委員長・学校の役割を特化して書いている。「学校及び〇〇」とか、「地域の青少年を育成する〇〇」というような文章にするのか。
- 委員・公民館活動は行政なのか。
- 事務局・公民館活動は住民の集まりである。市民団体という認識で良いと思う。
- 委員・学校教育の中で伝えられないものがあり、それらを支えるクラブ活動が増えている。それをこの文化推進体制の中でどうとらえるのか知りたい。
- 委員・「その様な団体と協力して・・・」というような一文を市の責務の中に入れておくのはどうか。
- 委員長・これを作るのは市ではなく市民である。それを理解した上で、文章を作りたい。
- 委員・「学校や文化施設は」としたらどうか。
- 委員・それでは社会教育の分野になるのではないか。
- 事務局・「社会教育」の分野の中に「文化」を取り扱うこともある。生涯学習推進計画が既にある。そちらと関連しながらまとめたい。
- 委員・「学校は」という文脈の中で並列させるのは良くない。「学校」の責務は重い。そこには入れられない。
- 委員・市の文化振興計画で幅広い計画であり、そこに全てのものを載せることはできない。公民館の記述があるのでその中に含めて考えたほうが良い。
- 委員長・「〇〇等の団体は」の中に含まれる。計画の文末に各委員のメッセージの中に書いてもらえば良いと思う。
- 委員・文化芸術団体に含んだほうが良い。
- 委員長・文化芸術団体等としたい。具体的に何が含んでいるのかは委員の共通認識としたい。専門委員も一文寄せることになった。市民委員の皆さんも一文を寄せて欲しい。字数等は事務局から連絡する。計画を作ったことで終わりではなく、責任を持って今後の推進役を担うよう協力して欲しい。